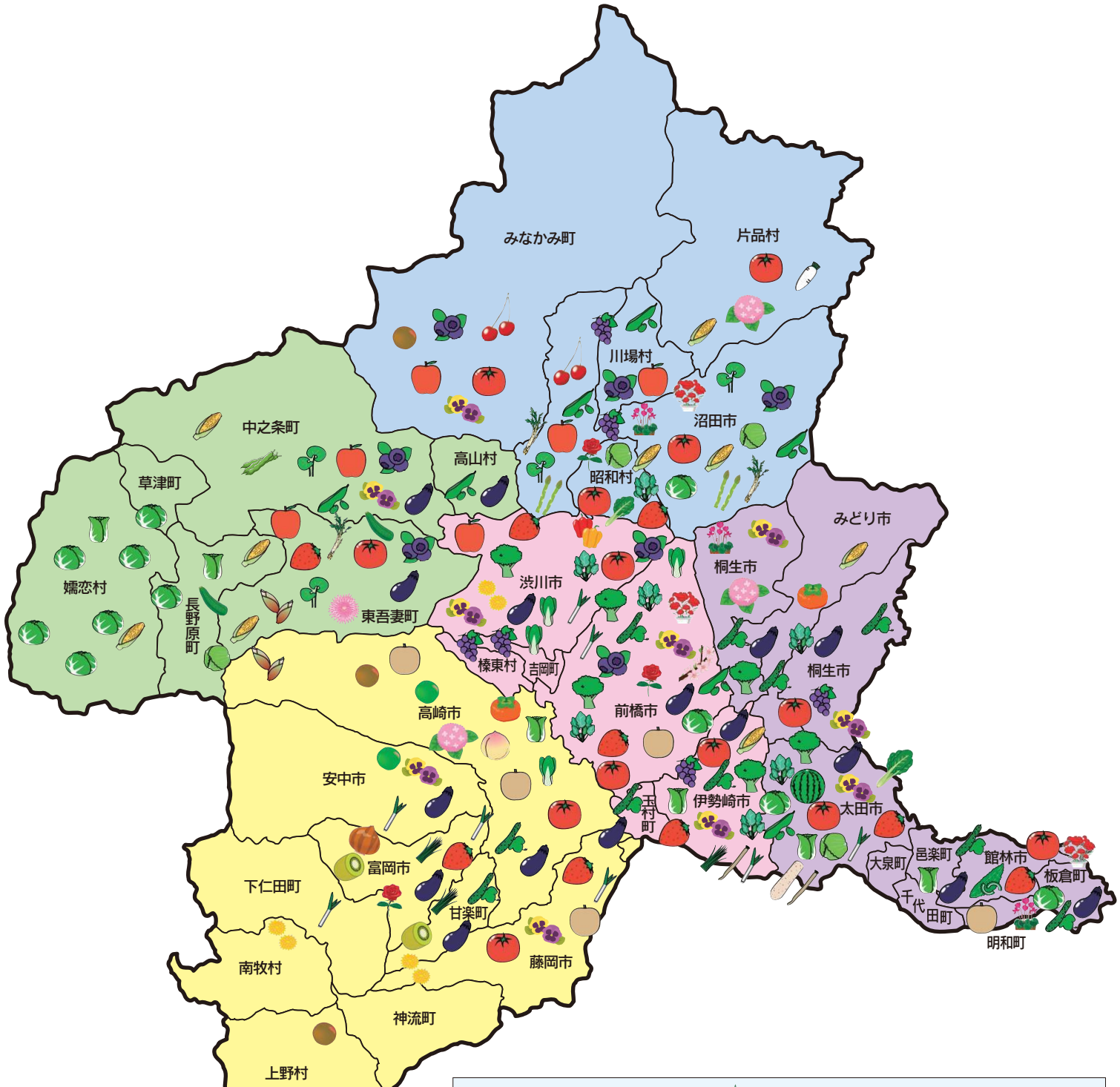


ぐんまの園

2026

ぐんまの園芸産地マップ



きゅうり	ちんげんさい	うど	日本なし	バラ
トマト	パプリカ	こまつな	もも	枝物類
なす	なら	アスパラガス	おうとう	シクラメン
いちご	たまねぎ	すいか	かき	カーネーション
キャベツ	ズッキーニ	やまといも	うめ	アジサイ
ほうれんそう	スイートコーン	はくさい	すもも	花だん用苗
レタス	さやいんげん	にがうり	キウイフルーツ	
ねぎ	みょうが	ごぼう	ブルーベリー	
ブロッコリー	だいこん	りんご	スプレーギク	
えだまめ	ふき	ぶどう	コギク	

ぐんまの園芸について

群馬の農業生産状況

群馬県では、東京から100km圏という有利な立地と、標高10～1,400mに広がる耕地を活かして、多彩な農産物を生産しています。

園芸部門の農業産出額は、群馬県の農業産出額の4割強を占めており、畜産部門とともに群馬県農業の中核を担っています。

園芸部門には「野菜」、「果実」、「花き」があり、各推進計画に基づき、出荷量や品質の向上等を目的とした様々な取組を行っています。



























表1 部門別農業産出額の推移

(億円)

	区分	平成7年	12年	17年	22年	27年	令和2年	3年	4年	5年	6年	構成比
耕 園 芸	野菜	922	845	754	904	1,035	1,004	891	892	956	1,042	36.3%
	果実	84	99	97	90	92	80	79	72	76	78	2.7%
	花き	60	68	58	51	51	46	53	55	56	55	1.9%
		1,066	1,012	909	1,045	1,178	1,130	1,023	1,019	1,088	1,175	41.0%
種	米	332	217	194	127	135	152	110	126	153	273	9.5%
	麦類	86	66	54	16	13	13	15	17	23	23	0.8%
	工芸農作物	85	90	80	89	95	61	71	69	49	44	1.5%
	その他	42	34	25	25	29	28	26	24	21	24	0.8%
畜産	938	867	938	923	1,098	1,079	1,158	1,215	1,319	1,327	46.3%	
加工農産物	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	0.0%	
計		2,551	2,289	2,200	2,226	2,550	2,463	2,404	2,473	2,655	2,868	100%

(資料：農林水産省 生産農業所得統計)

表2 主な県産園芸農産物の全国順位（令和6年産出荷量）

1位	 	6位	 
	キャベツ ほうれんそう		ねぎ ごぼう
2位	  	7位	
	きゅうり えだまめ うめ		さやいんげん
3位	     	8位	 
	レタス なす (夏秋なすは1位) ふき はくさい ちんげんさい シクラメン		みずな りんご
4位		9位	 
	スイートコーン		トマト たまねぎ
5位	    	10位	  
	こまつな やまのいも しゅんぎく キウイフルーツ バラ		だいこん ブロッコリー にら

(資料：農林水産省 作物統計調査)

新鮮・多彩なぐんまの野菜

群馬の野菜生産状況について

群馬県は、恵まれた自然条件や立地条件を活かし、年間を通して多彩な野菜生産が行われており、全国上位の野菜生産県として、首都圏の重要な野菜供給産地となっています。

令和6年の野菜の産出額は、夏秋期の猛暑の影響等もありましたが、前年を上回る1,042億円、全国第6位でした。出荷量では、キャベツ、ほうれんそうが日本一を達成しました。

群馬の野菜生産の強み

○標高差

標高10～1,400mに耕地が広がり、標高差を利用して様々な野菜が年間を通じて生産されています。利根沼田・吾妻地域の中山間地・高冷地では、夏の冷涼な気候を活かした野菜生産が盛んです。中部・西部・東部地域の平坦地では、露地栽培に加え、冬場の施設栽培も盛んです。

○首都圏に位置する地の利

群馬県は大消費地に近く、農産物の主な輸送路である高速道路網（関越・北関東自動車道等）も整備され、おいしい野菜を新鮮なうちに食卓に届けることができます。

○日照時間が全国トップクラス

日照時間は全国第2位（令和6年）とトップクラスであり、こうした恵まれた気象条件のもと、日光を十分に受けて育った野菜が出荷されています。

※気象庁HP 過去の気象データより集計

群馬県の野菜振興

県の野菜振興計画に基づき、地域による気候や土壌の違いや、近年の消費動向や流通形態の変化に対応すべく、品目ごとに戦略的な生産振興を図っています。

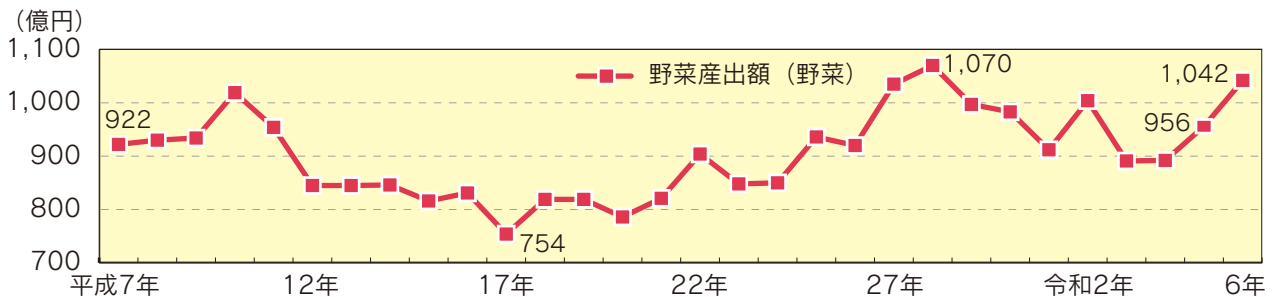


図1 野菜産出額の推移

(資料：農林水産省 生産農業所得統計)

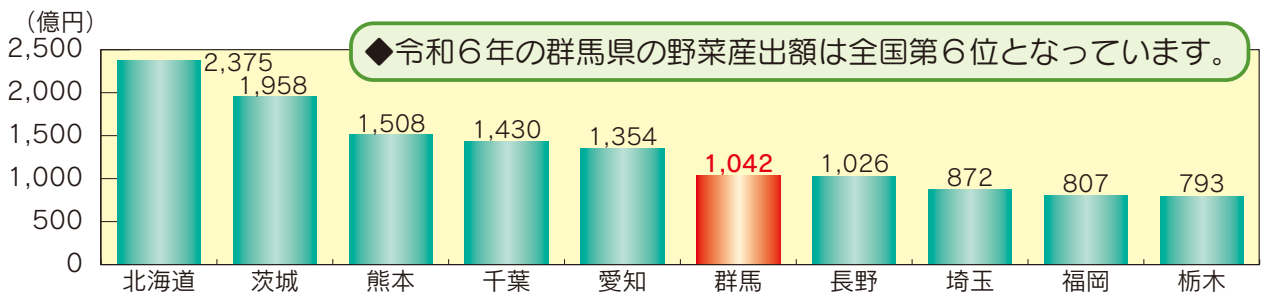


図2 令和6年農業産出額（野菜）の全国順位

(資料：農林水産省 生産農業所得統計)

品目別生産状況

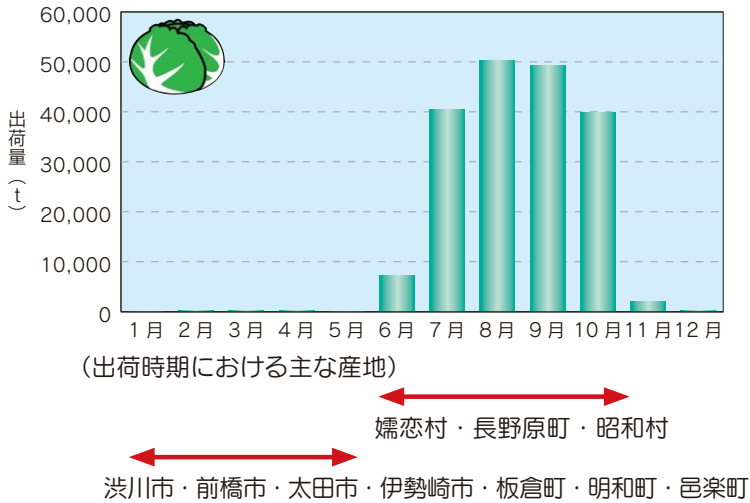
表3 品目別出荷量・作付面積・収穫量・農業産出額（令和6年）

品目	出荷量 【t】		作付面積 【ha】		収穫量 【t】		農業産出額 【億円】
	値	順位	値	順位	値	順位	
キャベツ	246,700 (101)	1位	4,090 (94)	2位	271,700 (96)	1位	197
きゅうり	45,800 (94)	2位	738 (96)	1位	50,800 (94)	2位	155
ほうれんそう	20,500 (101)	1位	1,980 (99)	1位	22,600 (101)	1位	92
なす	24,400 (103)	3位	521 (103)	1位	28,100 (102)	3位	84
トマト	18,400 (95)	9位	263 (92)	12位	19,800 (95)	9位	68
ねぎ	14,200 (100)	6位	909 (102)	5位	18,300 (99)	6位	59
えだまめ	5,570 (92)	2位	1,030 (100)	5位	6,340 (91)	2位	55
レタス	55,000 (101)	3位	1,390 (101)	3位	58,700 (101)	3位	53
いちご	2,440 (95)	14位	91 (98)	17位	2,590 (95)	14位	32
スイートコーン	11,200 (102)	4位	1,210 (103)	4位	13,300 (102)	4位	24
やまのいも	3,160 (100)	5位	336 (95)	4位	3,900 (100)	5位	24
はくさい	20,100 (101)	3位	442 (98)	6位	25,900 (101)	3位	22
だいこん	19,100 (93)	10位	630 (94)	11位	24,500 (91)	10位	22
ブロッコリー	5,050 (91)	10位	558 (89)	10位	5,580 (87)	10位	16
こまつな	5,810 (101)	5位	492 (96)	4位	6,450 (100)	5位	16
しゅんぎく	1,460 (91)	5位	99 (92)	5位	1,730 (91)	5位	12
ごぼう	5,040 (87)	6位	277 (82)	7位	5,570 (87)	6位	12
さやいんげん	698 (99)	7位	178 (100)	6位	1,070 (99)	7位	10
にら	1,840 (87)	10位	139 (99)	6位	2,030 (88)	10位	10
たまねぎ	7,520 (104)	9位	191 (102)	11位	8,250 (104)	10位	8

（資料：農林水産省 作物統計調査、生産農業所得統計）

※出荷量・作付面積・収穫量の下段（ ）内は対前年比%、右列は全国順位

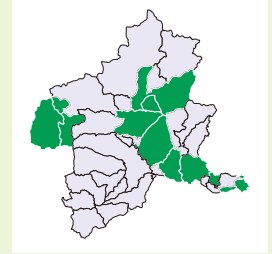
キャベツ



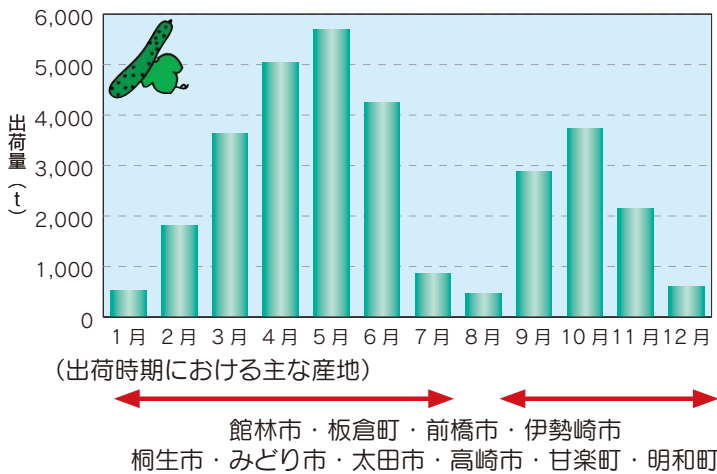
◇高冷地で生産される夏秋キャベツ（7～10月出荷）は、冷涼な気候を生かして、品質の高いキャベツ

が出荷されています。

◇冬春キャベツも、出荷量は少ないものの、平坦地を中心に、主に業務加工向けに栽培されています。

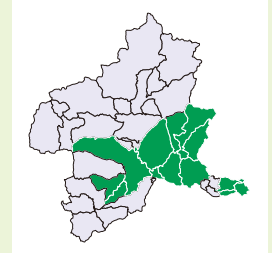


きゅうり

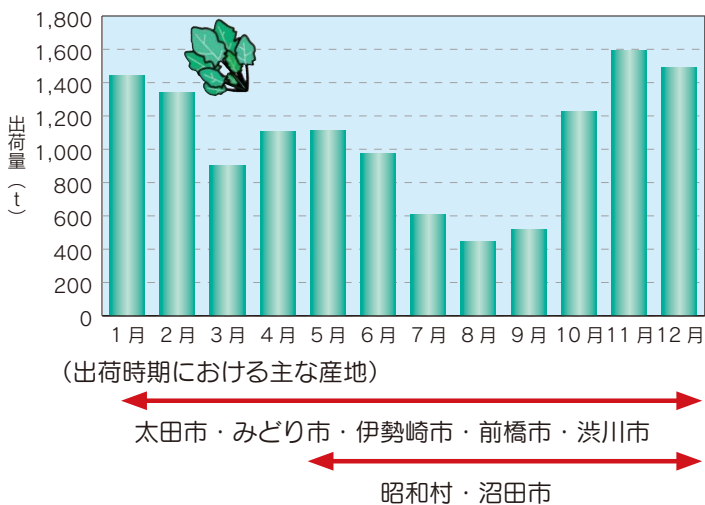


◇ハウスを利用して、促成（1～6月出荷）と抑制（9～11月出荷）の2作型を組み合わせた栽培が行われています。

◇近年、収量増加を目的として複合環境制御装置等を活用した栽培が盛んに行われています。



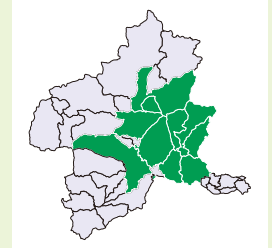
ほうれんそう



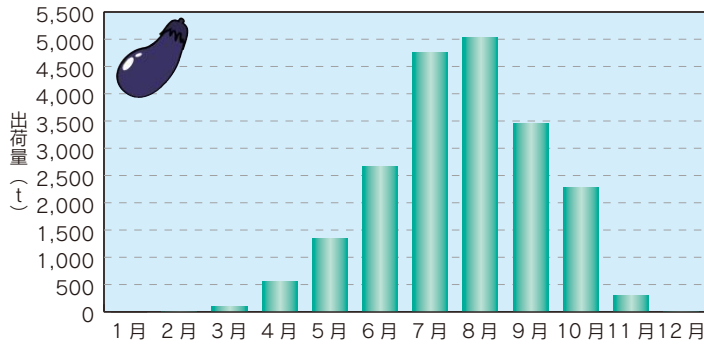
◇秋から冬（10～3月）にかけての出荷量が年間出荷量の約65%を占め、県内の平坦地から中山間地まで広く生産されています。

◇雨よけハウスの周年栽培により、雇用を導入した企業的大規模経営体が育成されています。

◇冬季（12月～2月）にはちぢみほうれんそうが平坦地を中心に栽培されており、甘みのある味わいが特徴です。



なす



(出荷時期における主な産地)



伊勢崎市・みどり市・前橋市

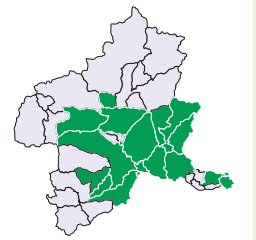


館林市・藤岡市・富岡市・吾妻地域

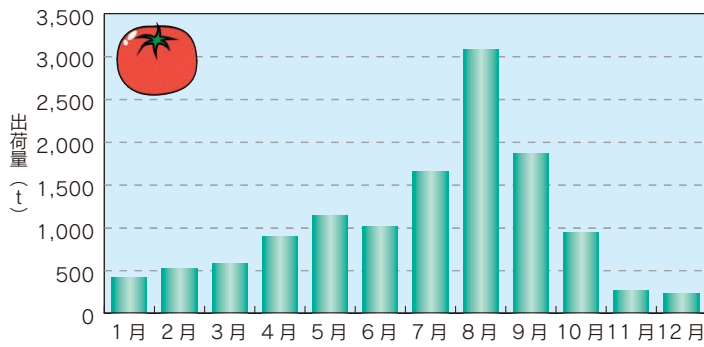


◇無加温ハウスを利用した半促成栽培（3～7月出荷）と、露地栽培（6～11月出荷）により、長期にわたり出荷されています。

◇露地栽培は、新規栽培者が取り組みやすい品目として推進を図っています。



トマト



(出荷時期における主な産地)



みどり市・藤岡市・伊勢崎市・高崎市・太田市・前橋市・館林市

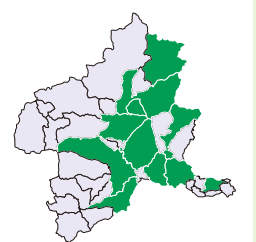


昭和村・片品村・渋川市

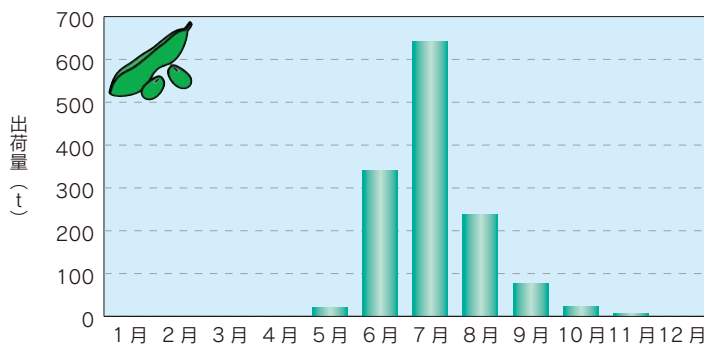


◇平坦地域でのハウス促成栽培（1～6月出荷）と、冷涼な中山間地域での雨よけ栽培（7～10月出荷）が行われています。

◇高糖度のフルーツトマトや加工向けの契約栽培など、特徴のある生産も行われています。



えだまめ



(出荷時期における主な産地)

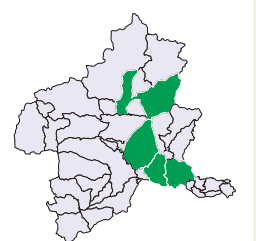


太田市・伊勢崎市・前橋市・沼田市・高山村



◇標高差を活かし、初夏から平坦地での出荷が始まり、夏から秋にかけて、中山間地へと中心が移っていきます。

◇サヤが鮮やかで、甘く美味しいえだまめが出荷されています。



YouTubeチャンネル「tsulunos」にて情報発信中

ぐんまの
なす
紹介動画



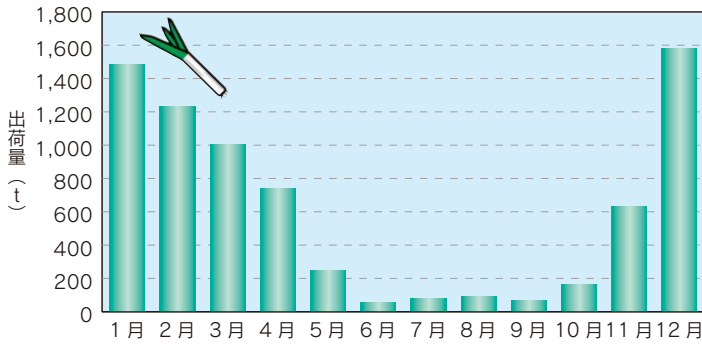
ぐんまの
キャベツ
紹介動画



ぐんまの
ほうれんそう
紹介動画



ねぎ



(出荷時期における主な産地)

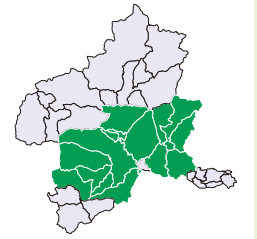


太田市・前橋市・渋川市・伊勢崎市・富岡市・
下仁田町・藤岡市

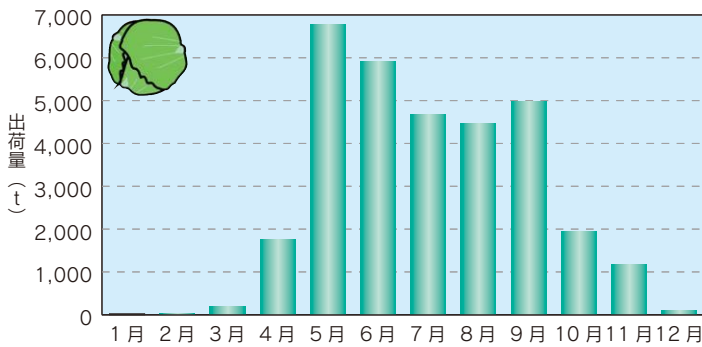


◇秋冬ねぎ（10～3月出荷）が年間出荷量の約85%を占めています。また、西部地域の下仁田ねぎは全国的にも有名です。

◇近年、播種から収穫までの作業を機械化した一貫体系により、省力化と作業効率の向上が図られています。



レタス



(出荷時期における主な産地)



昭和村・沼田市・長野原町・片品村

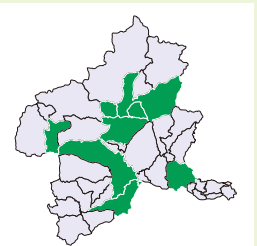


太田市・渋川市

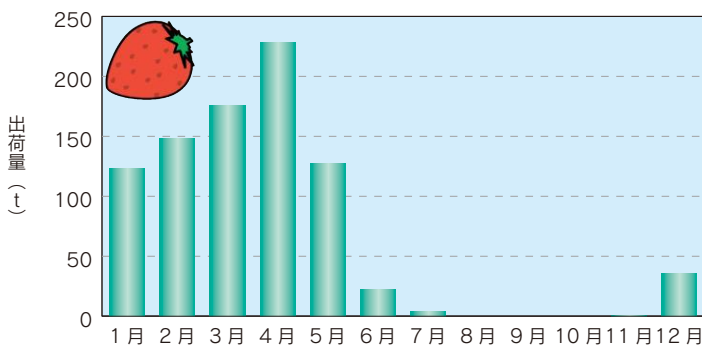


◇北毛の高冷地で生産される夏秋レタス（5～10月出荷）は、年間出荷量の約90%を占めています。

◇栽培管理の機械化により経営の大規模化が図られています。また、平坦地でも、業務加工向けの契約栽培が行われています。



いちご



(出荷時期における主な産地)



藤岡市・富岡市・館林市・前橋市・太田市・渋川市

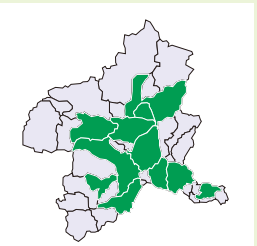


沼田市・昭和村・吾妻地域



◇平坦地から中山間地まで広く施設栽培が行われ、12月から7月まで出荷されています。

◇県育成促成品種「やよいひめ」をはじめ、業務用需要が高い県育成半促成品種「おぜあかりん」等が栽培されています。

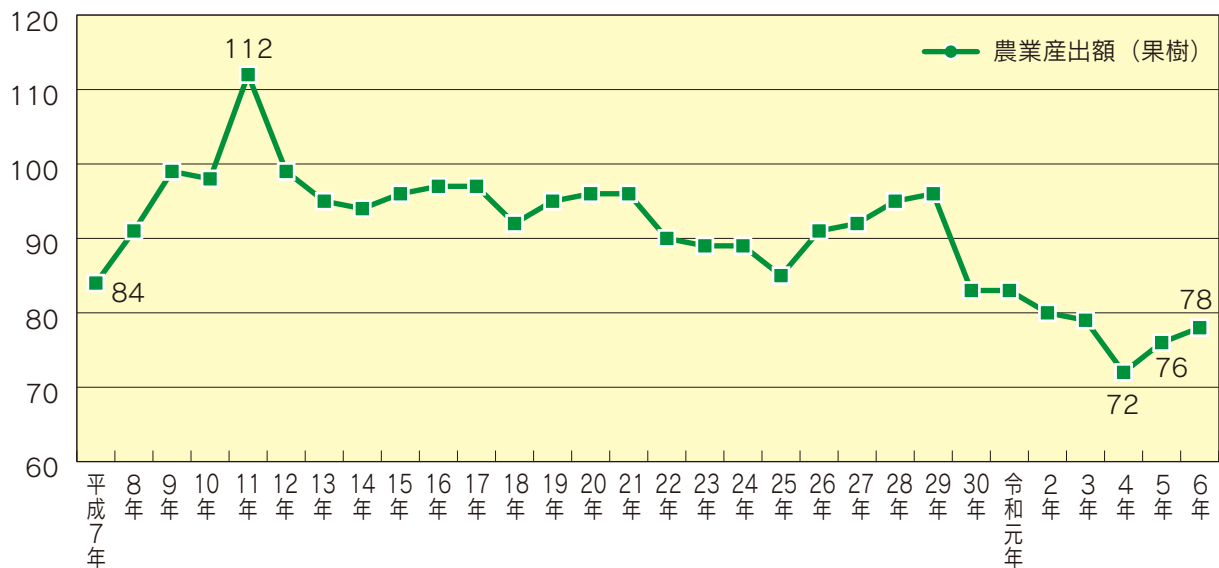


おいしいぐんまの果樹

群馬県では、自然条件を活かし、りんご、ぶどう、日本なし、もも、おうとう、かき、うめ、すもも、キウイフルーツ、ブルーベリー等の落葉果樹が主に栽培されており、令和6年の果樹産出額は78億円となっています（図3）。

「群馬県果樹農業振興計画」に基づき、品質重視で築いた消費者からの信頼を維持しつつ、担い手の確保・育成と栽培技術・園地の継承を推進することで、果樹産地の持続的発展を目指します。

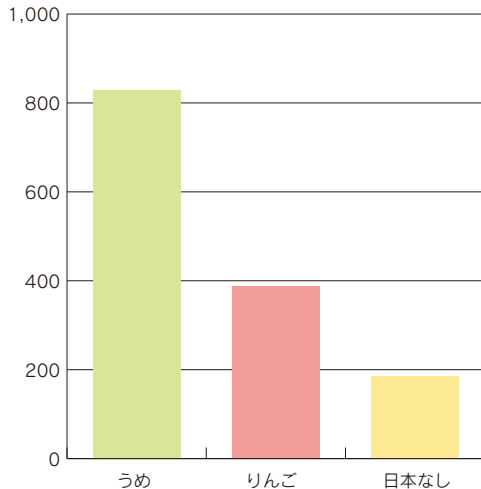
産出額（億円）



（資料：農林水産統計 生産農業所得統計）

図3 果実産出額の推移

栽培面積（ha）



（資料：農林水産統計 作物統計調査）

図4 令和6年品目別栽培面積

令和7年の話題

なし「群馬N2号」栽培開始

「群馬N2号」は、令和5年に出願公表された群馬県初のなし育成品種で、極早生でお盆需要に対応した青なしです。令和7年3月に生産者に穂木を配布し、早ければ令和8年から収穫が始まります。

また、今後は商標も取得し、ブランド化にも取り組む予定です。



「群馬N2号」の果実



接ぎ木の様子

群馬県の果樹振興

群馬県では、生産が盛んな品目である、りんご、日本なし、うめ、キウイフルーツ、ぶどう、もも、おうとう、かき、くり、すもも、ブルーベリー、いちじくについて、戦略的に生産振興を図っています。

品目別生産状況

表4 品目別作付面積・収穫量・農業産出額（令和6年）

品目		作付面積【ha】		収穫量【t】		農業産出額【億円】
主産地品目	りんご	389 (97)	8位	5,840 (97)	8位	15
	日本なし	186 (98)	15位	3,570 (97)	13位	12
	うめ	830 (98)	2位	4,150 (75)	2位	21
	キウイフルーツ	77 (105)	7位	929 (104)	5位	5
主産地外品目	ぶどう	130 (100)	27位	1,080 (100)	25位	11
	もも	56 (100)	18位	458 (100)	18位	2
	おうとう	40 (100)	9位	87 (100)	8位	3
	かき	155 (100)	30位	1,110 (100)	26位	3
	くり	191 (100)	23位	252 (100)	17位	1
	すもも	45 (100)	10位	373 (100)	9位	2
県主要品目	ブルーベリー	81 (106)	2位	237 (102)	3位	4
	いちじく	5 (100)	26位	28 (89)	24位	0

（資料：農林水産省 作物統計調査、生産農業所得統計）

※作付面積・収穫量の下端（ ）内は対前年比%、右列は全国順位

※作付面積・収穫量は、りんご、日本なし、うめ、キウイフルーツ以外は、令和2年数値、ブルーベリー、いちじくは令和4年数値

※「主産地品目」「主産地外品目」「県主要品目」は、県で作成した群馬県果樹農業振興計画に基づき区分

群馬の果樹生産の強み

○標高差

長い日照時間や標高差に富んだ地形等恵まれた自然条件を生かし、中山間地域から平坦地まで地域の特性に応じた特色ある果樹産地が形成されています。

○多様な県育成品種の導入と高品質な果実の生産

りんご、ブルーベリーなど県で育成した品種が多数導入されており、高品質で良食味の果実が生産されています。

首都圏に位置する地の利

販売形態は品目や産地の実情によって二分化されており、首都圏近郊の観光客をターゲットとした観光直売と大消費地の100km圏内に位置する地の利を生かした市場出荷が行われています。

観光直売について

◇平坦地では「日本なし」「ぶどう」「もも」などの品目が、中山間地では「りんご」「ブルーベリー」「おうとう」などの品目がもぎとりや直売等の観光農業を中心にして定着しています。

「日本なし」

◇高崎市、前橋市、藤岡市、明和町などで栽培されています。約200年の歴史を持つ大島梨など、歴史の長い産地が多いです。



「ぶどう」

◇平坦地から中山間地まで栽培されています。多くの品種が販売されているため、長期間楽しむことができます。



「りんご」

◇利根沼田地域、渋川市、吾妻地域を中心に栽培されています。また、9月～12月まで県育成品種を中心とした品種リレーを楽しむことができます。



果樹の情報発信

県内の果樹園の情報を一覧で紹介するウェブサイト「味覚あふれるぐんまのくだもの園」で県内の果樹情報を発信しています。



「味覚あふれるぐんまのくだもの園」

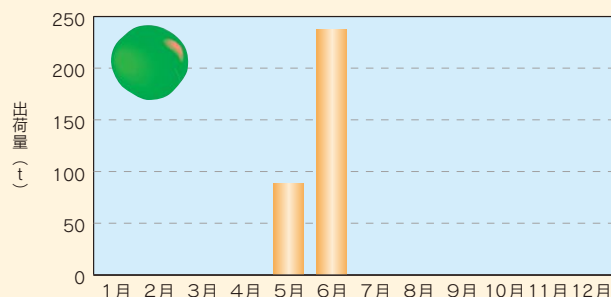


市場出荷について

◇「うめ」や「キウイフルーツ」は京浜市場を中心に市場出荷されています。「ブルーベリー」「日本なし」なども一部市場出荷されています。

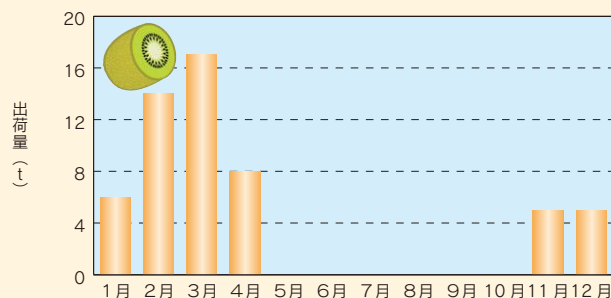
「うめ」

◇「白加賀」の栽培面積が全国1位で、青梅として市場出荷して有利販売につなげています。



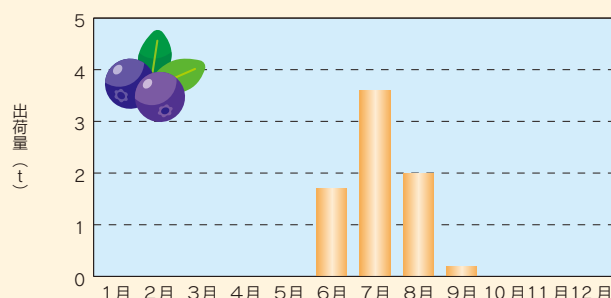
「キウイフルーツ」

◇甘楽町、富岡市を中心に栽培されていて、市場出荷が主体となっています。



「ブルーベリー」

◇もぎとりや直売主体に販売しています。また、市場出荷にも取り組んでおり、市場からも高い評価を得ています。



色あざやかなぐんまの花

群馬県では、冬季の恵まれた日照や標高差のある自然条件により、各地でバラエティに富んだ花きが生産されています。主な品目は、キク類（コギク、スプレーギク、輪ギク）、バラ、トルコギキョウ、枝物類、シクラメン、カーネーション、アジサイ、洋ラン類、花壇苗などです。令和6年の作付面積は、切花類が212ha、鉢物類が39ha、花壇用苗物が41ha、花き産出額は55億円となっています。県産花きの生産振興は「群馬県花き振興計画」に基づき関係者が連携し、推進しています。

県HP



切り花類

キク



スプレーギク

スプレーギクは吾妻・利根沼田などの北毛に産地があり、8～9月の盆彼岸を中心に、施設栽培では周年出荷する事例もある。コギクは群馬県で育成した品種、小夏シリーズも市場評価が高い。



輪ギク



コギク

バラ



前橋市、富岡市、昭和村に産地があり、出荷量で全国5位。全国品評会での入賞多数。周年出荷。

トルコギキョウ



豪華さと花もちで人気の切り花。夏場は標高の高い昭和村等、冬場は平坦地の館林市や富岡市、板倉町を中心に作付されている。産地リレーで周年出荷。

枝物類



ハナモモ

ハナモモやヤナギ類、ミスキ類など、季節を感じる枝物が前橋市、中之条町、渋川市等中山間地で作付されている。品目にもよるが春と秋の出荷が多い。



スモークツリー

鉢花類

シクラメン



東部地域を中心に県内各地で生産。出荷量では全国第5位だが、比較的大鉢の高品質なギフト用が多い。11～12月出荷。



群馬



カーネーション

母の日ギフトの定番。赤・ピンクの他黄色や覆輪など珍しい品種も。板倉町や明和町などの東部地域を中心に県内で作付。5月中心の出荷。

アジサイ

こちらも母の日に人気の豪華な鉢物アジサイ。東部地域を中心に県内各地で生産。生産者育種も盛んで、群馬にしかない品種も多数。4月下旬～6月に出荷。



花壇用苗類



ハボタン



マリゴールド

ハンジー、ピオラ、ハボタンやニチニチソウなど多種多様な花壇用苗物が、県内各地で生産されている。生産者育種もさかん。出荷量全国12位。春と秋に出荷ピーク。

資料：農林水産省「令和6年産花きの作付（収穫）面積及び出荷量」

ぐんまの花 その他の品目・品種

ぐんまの花は、主要品目以外にも、個性的な花がたくさんあります。

例えば、自然な風合いが楽しめる宿根草類（エリンジウム、ワレモコウ等）や、夏も爽やかな風が流れる山間部では切り花アジサイ、紅葉物の枝物、実物なども人気です。

さらに、鉢物ではアジサイやシクラメン、苗物では生産者の育種した珍しい品種や、色の鮮やかさで人気のエラチオールベゴニア、大切なギフトに欠かせない洋ラン類などもあります。

宿根草類



エリンジウム



アストランティア



ワレモコウ

中之条町六合地区や片品村、南牧村などの山間地を中心に、珍しい宿根草類の産地があり、100を超える種類が生産されている。出荷は夏秋時期が主。

切り花アジサイ



グリーンシアナベル



秋色ミナツキ

片品村、南牧村などの山間地では、切り花アジサイも盛ん。特に片品の秋色アジサイは、鮮やかな色づきで人気の花。秋色ミナツキは、フラワーオブサイヤーOTA2023最優秀賞受賞。出荷は8～10月。

洋ラン類



コチョウラン

シンビジウムやカトレア、コチョウランなども県内で生産。全国品評会で入賞することも多い。出荷は真夏を除く周年。



カトレア



シンビジウム

エラチオールベゴニア



赤や黄色といった鮮やかな色合いのエラチオールベゴニア。八重品種はバラのようで人気。出荷は真夏を除く周年。

生産者による 育成品種

県内では、アジサイ、シクラメン、花壇苗などで生産者自身による品種育成が盛ん。

育成品種
パンフレット



ピオラ



アジサイ



オステオスペルマム



ルクリア

群馬県育成品種の紹介

群馬県農業技術センターで開発された品種の一部をご紹介します！
このほかにも、様々な品種が育成され、県内での生産振興が図られています。

いちご「やよいひめ」

平成17年1月品種登録。果実が大粒でしっかりしていて日持ちが良い、糖度と酸度のバランスが良く食味が優れる、上品な鮮紅色などの特徴があり、他品種の品質が低下する3月（弥生）以降も安定した品質を保てるのもセールスポイントです。

県内の品種別作付シェアは約8割で、群馬県を代表する品種となっています。



いちご「おぜあかりん」

平成23年5月品種登録。果実がしっかりしていて日持ちが良い、食味が良い、光沢ある濃い赤色などの特徴があります。中山間地である利根沼田地域で、3月下旬から7月中旬の初夏まで収穫することができます。

りんご「紅鶴」

平成28年8月品種登録。きれいな濃赤色で美しい外観と濃厚な味わい、シャキシャキとした食感が特徴の期待の新品種です。既存の県育成品種「あかぎ」と「陽光」の端境期である10月上中旬に収穫期をむかえます。新品種の為、希少な品種となっていますが、これから生産量が増えるように振興を図っていきます。



うめ「群馬U6号」(商標：ゆみまる)

令和2年11月（群馬U6号）として品種登録。令和4年3月23日「ゆみまる」として商標登録。収穫期は青梅の場合は6月上旬、梅干し加工用の場合は6月中旬です。



自家結実性があり豊産性で、本県の主力品種「白加賀」の生産を安定化させる受粉樹としても期待されます。平成30年度から苗木の配布が開始されました。

コギク「小夏の恋」

令和2年3月品種登録。明るい赤紫色で、スリムな草



姿が特徴です。「小夏の風」等と同様、県内の平坦地～300m地域であれば、開花調節しなくても、お盆向けに出荷できます。

お問い合わせ先

群馬県農政部

野菜花き課

電話：027-226-3124 FAX：027-243-7202

蚕糸特産課

電話：027-226-3136 FAX：027-221-8681

発行：令和8年3月